令和７年度　びえい未来トーク

開 催 日：令和７年９月３日（水）１０時～１１時２０分
会　　場：北区行政区会館
参加団体：西和会（約１８人）
町出席者：角和町長、髙島課長、新村課長、森谷（記録）

１．会長開会あいさつ

大変ご多忙な中、町長・課長の出席ありがとうございます。

今年の夏はかつてない暑さであるため、農業者の方は日中を避け、朝晩で作業を行うなど大変ご苦労されていると聞いている。

今回で４回目の未来トーク。昨年の未来トークもよかった。角和町長の話が分かりやすく、聞きやすい。声もいいと意見が出ていた。本日はよろしくお願いいたします。

２．角和町長あいさつ

とてもいい機会をいただいている。また、皆様のご協力により、町政を行えていることに改めて感謝申し上げる。

農業は、麦が昨年より少し悪かったと聞いている。じゃがいもは個数が多いが小玉傾向。この雨で少し大きくなっていれば。

経済対策については質問になかったが、日常生活で困っていることなどを忌憚のない意見をいただければ幸いです。

３．トーク（角和町長より事前質問について回答）

①町内のイベントの告知を早くできないか

昨年も同じ質問をいただいている。改善できていないことに対し、お詫び申し上げる。

広報についてはなるべく早めの掲載を心掛けている。ただ印刷に間に合わすために締切があり、２週間以上前に原稿を作成する必要があり、どうしてもそこで時間差が生まれてしまう。イベントの詳細が決まっていれば、告知は可能だが、印刷の締切の都合上間に合わないことについてはご容赦いただきたい。町公式ＬＩＮＥでの周知も行っている。情報がまとまり次第すぐ発信ができる。こちらを利用いただければ情報をお届けすることが可能なので、ぜひご登録をお願いします。

②小児科を美瑛町に設置できないか

毎年お話をいただいている。産婦人科も含めて、他の団体・町内の方からも要望がある。

必要性は把握しているが、小児科医が非常に少なく、派遣いただくことが困難。

内科も旭川医大から派遣していただいているが、難しくなっている。町民の健康と命をま

もる砦として、毎年お願いをして、今の診療体制を維持している。
旭川市内でも小児科を統合していこうという流れがあることや町立病院の事情としても、小児科医への報酬、診療器具の整備が必要で、その経費を支出することが大きな課題。
毎年 5 億円の赤字が出ており、この赤字がさらに広がってしまうことが確実に見通せるため、町立病院の経営の観点からも実施が出来ていない状況。旭川市の小児科を紹介するなど、いざという時には、安心して子育てできるような環境を整えていきたい。
どうすれば安心して子育てができるかを様々な意見をいただいて改善していきたい。

③駅裏通りに複合施設やトイレの設置など検討できないか

鉄西側の再開発について、中心市街地活性化という大きな事業として検討している。
町のお金だけでは実施が難しいため、国や道の補助金を活用する形で実施していきたいが、条件がいくつかあり、町の計画がなかなか認められないことがある。資材の高騰の影響もある。北海道などに交渉しているところ。
他の団体や町民の方からもご意見をいただいており、できるところから進めていきたいと思っている。トイレについては、何らかの施設を一体として考えていたが、トイレのみ改善できないか検討している。ふらのバスからも要望をいただいている。

④観光客の安全のためヘルメットの着用を指導してほしい

近年、自転車の事故が注目されているが、ヘルメットは努力義務となっている。運転者や通行者にも影響がある。レンタル事業者の方に周知に努めていきたい。

⑤道路の補修、止まれの標識の設置、公衆トイレの整備をしてほしい

道路の補修については、デコボコなどありましたら、ご連絡いただき順次直していきたい。
止まれの標識を設置の権限は、町になく、公安委員会が持っている。町にご要望いただき、町から公安委員会に要望をかけていきたい。
現在は「交差点です。止まりましょう」という看板を設置し注意喚起を行っている。ここは危険道路であるなど、町に情報提供していただければ。
公衆トイレについての設置は要望が多い。観光客用のトイレなのか、町内者向けなのかで考えも変わると思う。町内向けはご要望いただければ。
観光客向けは、観光ルートを見渡す中で、トイレをきれいにしたり、新設等も考えていきたい。
冬のトイレについても開放できればと考えているが、整備管理する人、光熱費の問題があり、総合的にトイレの在り方を考えている。また、生活している中で、公園などどこにトイレがあったらよいか等、教えていただければありがたい。

⑥身寄りのない高齢者の金銭管理や死後の事務手続きなどの支援について聞きたい

ご相談などは役場の地域包括支援センターや保健センターなどにできる。

法的には成年後見制度がある。弁護士などに依頼して管理してもらうのが一般的だが町内での事例は少ない。社協や民生委員、役場も見守りは行っているが、さらに皆さんの悩みを解決できるよう努めていきたい。

死亡後の手続、遺族の方がすることがたくさんあるので、住民生活課のワンストップ窓口でそこにお越しいただくだけで解決するよう体制を整えている。やることは冊子にまとめているので、分かりやすくお伝えするよう努めている。

お１人世帯の高齢者の死亡時には、行政のほうで各種手続きを行っている。埋葬については、親族の方を調査し、見つからない場合は、町営墓地に埋葬している。

⑦高齢者の見守り・訪問の取り組みについて聞きたい

民生委員、社会福祉協議会、役場で定期的に見守りなどを行っている。町民の方からも孤独死についてお伺いしたことがあり、同じ町内なのに気づけなくて申し訳なかったという人もいる。早めに見つけることができたらというのは町民の共通の思い。例えば、宅配・トドックなどに協力をいただき、安否確認をすることやリモートなどの様々な技術を活用するなど、見守り活動を充実させていきたい。

⑧国道沿いの花壇の除草をしてほしい

国道については、基本的には国が管理することとなっている。しかし、国に依頼するだけでなく、町でも管理を行っており、今年度はすでに２回除草を行っている。昨年よりきれいになっている。国道は、美瑛の顔としての道路だと認識している。関係機関とのボランティアと協力して、率先して管理していきたい。

⑨町道の花壇を管理する町内会への助成はあるか

今年度から地域活動にかかる一括交付金として補助金の支援することができる。今後も皆さんの意見を聞きながら制度を整備してまいりたい。

⑩町であいさつ運動に取り組んではどうか

あいさつはコミュニケーションマークの基本だと考えている。役場でもあいさつしない人がいるという声もいただくこともある。

町全体となると、まだ周知ができていない。子どもたちについては、あいさつの大事さを伝えているが、さらに周知していきたい。他にも様々な機会であいさつの大切さを訴えていきたい。

⑪動物病院やペットトリミングの店がほしい

どなたかが開業するとなれば、町からの補助制度がある。そのような支援は可能。他の町

よりも開業しやすいようにしている。起業のさらなる充実を図っていきたい。
　また、美瑛町の産業でこれが足りない、こんな仕事する人募集したいなどの誘致については、できる限り行っていきたい。

４．質疑応答

Q．イベントは土日が多いが、土日働いていて前月のシフトは 20 日ごろまでに出す必要がある。どかんと農業まつりなどの日程はいつ決まるのか教えてほしい。調整できるのか？また、年間行事計画を載せていただければ。
A．比較的大きなイベントについては、その月の第何曜日か決まっているので、年間のスケジュールに組み入れるなどでまとめてお伝えすることは可能。早めにお伝えさせていただく。

Q．フリーロードの１階の西側にトイレ設置できないか？
A．設置は検討しているが、ＪＲとの協議も必要で、電車を止める必要性などもでてきている。フリーロードのトイレ設置については、現実的であると思っている。技術的に可能かどうかも調査中。

Q．ヘルメット着用は努力義務の範囲なのか？
A．現状ではそのとおり。罰則規定などもない。

Q．止まれをＳＴＯＰにするなど、町からの要望の中に入れることは可能か。
A．ＳＴＯＰの標識は増えてきている。公安委員会との話し合いの際に、お話しさせていただく。

Q．交差点の文言について、「交差点です。止まりましょう」だと長いので、別の表示で危険を知らせてほしい。
A．文言と色は町で調整可能なので、検討していきたい。

Q．住民が必要な手続きなどを分かりやすく周知してほしい。
A．広報で周知するよう検討していく

Q．空き家に関して、草が伸び放題になっている。町から周知してほしい。
A．空き家の調査や空き家対策の計画づくりを行っている。また、解体の補助や空き家を貸したいという人に対しても、仲介するなどの支援はしている。

Q．大町公園と大町の街路樹をどうにかしてほしい。

A．今年剪定する予定。

Q．観光客のトラブルは何かあるか
A．たばこなどのゴミのポイ捨て、交通渋滞、家をのぞき込まれる、道路や家の写真を勝手にとる、飲食店については地元の人が入れないなどがある。
　課題は解決していきたいが、観光客の方には引き続き観光に訪れてほしい。１つ１つ解決に向けて取り組んでいきたい。

Q．少子高齢化が進んでいるなかで、今後地域活動はどうすべきか。いろんな人にこういった会議に参加してもらいたい。町からの助成金をいただきながら、活動している。
A．町内会活動は、地域に皆さんの結びつきや行政の仕事もお手伝いしていただいている。担い手不足も聞いている。一括交付金制度で支援を、分かりやすく簡単にするようにしたが、さらに支援の幅は広げていきたい。

５．閉会のあいさつ（副会長）
　事前質問について、詳しくお話しいただきありがとうございます。未来トークがさらに充実するよう願っている。
　高齢化により、出席するメンバーが固定化されている。ご要望として、こういった活動に参加をしてもらうために、町全体として考えていただきたい。

　11 時 20 分閉会